

地震保険における被害予測シミュレーションのイメージ

- ①コンピュータ上で仮想の地震を発生させます。
客観的で高精度な地震発生データを用いて、
地震の揺れや津波の大きさ等を計算します。



- ②地震保険における現在の全国の契約データ
をもとに、①の各地震（A地震,B地震…）
が発生した場合に支払いが予想される保険金
の額をそれぞれ計算します。

例：A 地震による被害による
保険金の支払い予測額は
2000 億円



- ③各地震により支払が予想される保険金の額(②)と
各地震の平均発生間隔から 1年あたりの 予想支払
保険金を計算します。

例：A 地震は 1000 年に 1 回
の平均発生間隔
→ 1/1000 (回/年)

↓
A 地震に対する
1 年あたりの予想支払保険金は
2000 億円 × 1/1000 = 2 億円



- ④各地震（A地震,B地震…）における③の結果を足し合わせることで、
地震保険全体での将来 1 年あたりの予想支払保険金を計算します。

例：2 億円（A 地震） + 10 億円（B 地震） + …
= 地震保険における将来一年あたりの予想支払保険金

↓
この結果を用いて地震保険の純保険料率を算出します